

# 宇治市学校施設長寿命化計画

# 宇治市学校施設長寿命化計画

## 目次

### 序論

#### 第1章 学校施設長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景	2
2. 目的	2
3. 計画の位置づけ	2
4. 対象期間	2
5. 対象施設	3

### 実態と課題

#### 第2章 学校施設の実態と課題

1. 学校施設を取り巻く状況（児童生徒数推計）	6
2. 学校施設を取り巻く状況（施設関連経費と施設活用状況）	10
3. 学校施設の劣化状況	13

### 施設整備

#### 第3章 学校施設整備の基本的な考え方

1. 学校施設整備の基本的な考え方	24
2. 改修等の基本的な考え方	26
3. 改修等の一般的な整備水準	28

### 実施計画

#### 第4章 長寿命化の実施計画

1. 学校施設長寿命化計画	32
2. 従来型と長寿命化型のコスト試算について	34
3. フォローアップ	37

第 1 章 学校施設長寿命化計画の背景・目的等

### 1. 背景

#### (1) 国のインフラ施設長寿命化計画

国は、高度成長期以降に集中的に整備された道路・鉄道・港湾・上下水道・学校等あらゆるインフラ施設が今後一斉に高齢化することに対応するとともに、大規模災害に備え、世界の先進国として在り続けるため、これまで以上に戦略的に取組を進めることが重要であるとしています。

このため、国は、2013(平成 25)年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るとともに、維持管理・更新に係る産業の競争力を確保するため、国や地方公共団体等が一丸となってインフラの戦略的な維持管理・更新等を推進するものとなりました。

学校施設においても、全国的に築年数が経過した施設が多くを占める中で安全・安心を確保し、よりよい教育環境をトータルコスト縮減や予算を平準化して実現することが求められており、文部科学省を通して、全国の地方自治体に学校施設の長寿命化計画の策定を促しています。

#### (2) 本市の学校施設の状況

本市の学校施設は、第 2 次ベビーブームに対応して、1970(昭和 45)～80(昭和 55)年代に多くの学校施設が整備され、2020(令和 2)年現在、建築後 30 年以上経過しているものが全体の約 8 割を占め、改修や改築が必要な時期を迎えつつあり、厳しい財政状況下で、今後の改修や改築を実施するにあたっては、より効果的・計画的な実施が求められています。

### 2. 目的

『宇治市学校施設長寿命化計画(以下「本計画」という。)]は、本市学校施設の実情を反映させ、学校施設の老朽化対策を、児童・生徒・市民の安全・安心の確保、中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストの縮減を図りながら実施していく指針とすることを目的とします。

### 3. 計画の位置づけ

本市では、公共施設等の維持管理に関する基本的な方針や考え方を取りまとめた『宇治市公共施設等総合管理計画(以下「公共施設管理計画」という。)]が 2017(平成 29)年に策定されており、本計画は、公共施設管理計画の学校施設に関する個別計画として策定します。

また、これまで学校施設の整備の方針として、学校施設整備計画を策定してきましたが、計画策定後は、「本計画」を今後の学校施設に係る整備計画として位置づけるものとします。

### 4. 対象期間

2021(令和 3)年度から 2060(令和 42)年度までの 40 年間

※2021(令和 3)年 3 月 31 日末時点での状況を元に設定しており、将来の児童生徒数の変動や学校施設のあり方、財政状況等の変化等に対応するため、今後、本計画を適宜見直すものとします。

## 5. 対象施設

本市が保有する学校施設（公立小学校 21 校、中学校 9 校、小中一貫校 1 校、幼稚園 3 園）は合計 34 施設、延床面積は約 19.4 万㎡となっています。（2020(令和 2)年 4 月 1 日現在）

小学校、中学校、小中一貫校、幼稚園の 34 施設の内、最も古い棟が築年数 40 年以上 50 年未満の施設が 17 施設、築年数 50 年以上の施設が 10 施設あります。

表 1-1 学校施設一覧

分類	施設名	延床面積	竣工年度
小学校 21校	菟道小学校	4,791 ㎡	1966(昭和 41)年
	菟道第二小学校	5,543 ㎡	1979(昭和 54)年
	神明小学校	5,284 ㎡	1971(昭和 46)年
	槇島小学校	5,608 ㎡	1968(昭和 43)年
	北槇島小学校	5,319 ㎡	1982(昭和 57)年
	小倉小学校	6,185 ㎡	1966(昭和 41)年
	伊勢田小学校	5,527 ㎡	1973(昭和 48)年
	西小倉小学校	5,434 ㎡	1968(昭和 43)年
	北小倉小学校	5,258 ㎡	1972(昭和 47)年
	南小倉小学校	5,950 ㎡	1977(昭和 52)年
	大久保小学校	7,770 ㎡	2007(平成 19)年
	大開小学校	5,282 ㎡	1975(昭和 50)年
	西大久保小学校	5,430 ㎡	1969(昭和 44)年
	平盛小学校	5,481 ㎡	1974(昭和 49)年
	三室戸小学校	4,488 ㎡	1974(昭和 49)年
	南部小学校	5,197 ㎡	1971(昭和 46)年
	岡屋小学校	5,276 ㎡	1973(昭和 48)年
	木幡小学校	6,124 ㎡	1967(昭和 42)年
	御蔵山小学校	5,748 ㎡	1972(昭和 47)年
	笠取小学校	1,519 ㎡	1983(昭和 58)年
	笠取第二小学校	1,619 ㎡	1983(昭和 58)年
中学校 9校	宇治中学校	8,535 ㎡	1975(昭和 50)年
	北宇治中学校	6,911 ㎡	1971(昭和 46)年
	槇島中学校	5,498 ㎡	1981(昭和 56)年
	西小倉中学校	7,414 ㎡	1977(昭和 52)年
	西宇治中学校	7,001 ㎡	1967(昭和 42)年
	南宇治中学校	7,580 ㎡	1975(昭和 50)年
	広野中学校	7,514 ㎡	1983(昭和 58)年
	東宇治中学校	9,725 ㎡	1962(昭和 37)年
	木幡中学校	7,982 ㎡	1973(昭和 48)年
小中一貫校	宇治小学校 黄檗中学校 (宇治黄檗学園)	15,625 ㎡	2011(平成 23)年
幼稚園 3園	東宇治幼稚園	618 ㎡	1970(昭和 45)年
	神明幼稚園	582 ㎡	1968(昭和 43)年
	木幡幼稚園	442 ㎡	1976(昭和 51)年

※ 小倉小学校・平盛小学校は、併設しているデイホーム面積を除く。



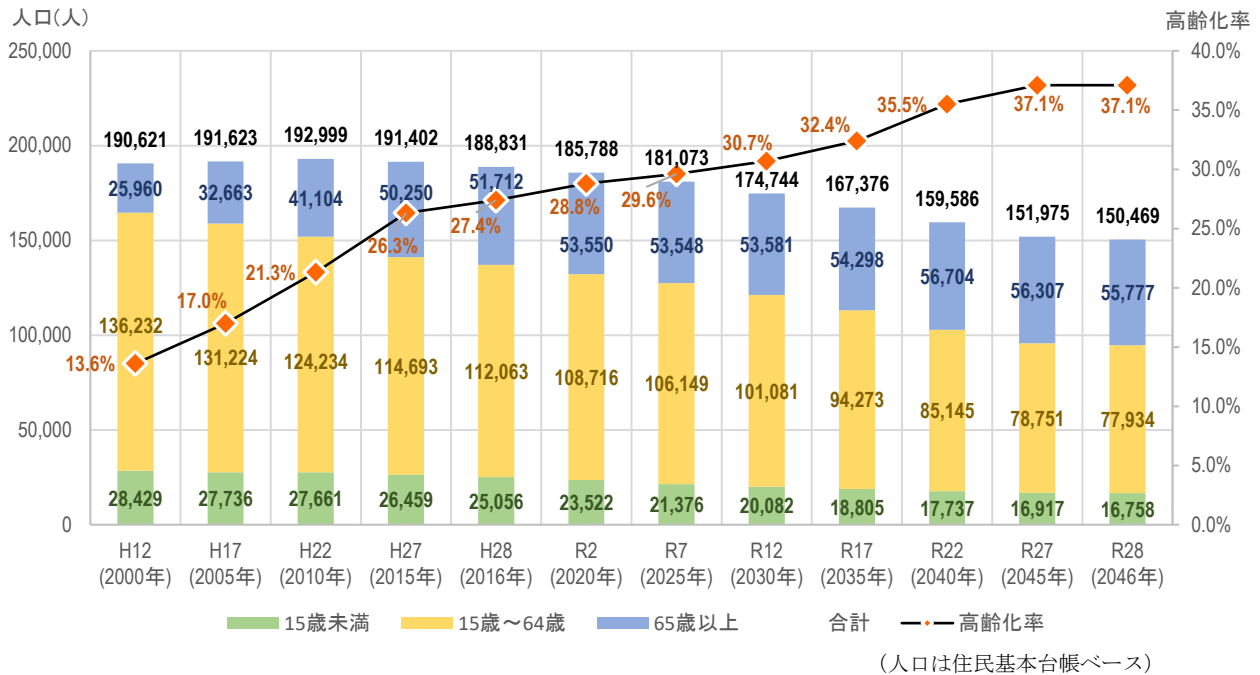
## 第2章 学校施設の実態と課題

## 1. 学校施設を取り巻く状況（児童生徒数推計）

### （1）人口の推移と将来人口の推計

本市の人口推移は、2010(平成22)年以降減少に転じ、今後も引き続き総人口及び15歳未満人口は減少傾向で推移するとともに、高齢化率は上昇すると見込んでおります。

図2-1 人口推移と将来人口の推計（「公共施設管理計画」より抜粋）





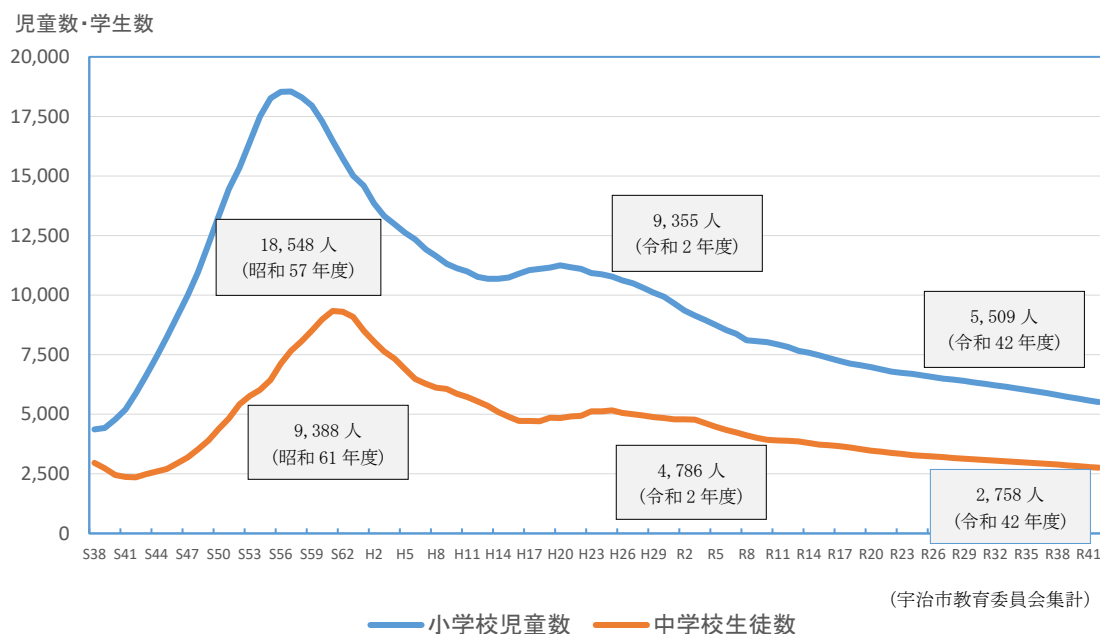
## (2) 児童生徒数の推移

### 1) 児童生徒数の推移と今後の推計

小学校児童数は2020(令和2)年5月1日現在9,355人(ピークは1982(昭和57)年18,548人)、中学校生徒数は2020(令和2)年5月1日現在4,786人(ピークは1986(昭和61)年9,388人)であり、現在はピーク時の約半数の児童生徒数となっています。

なお、今後の推計として、40年後の2060(令和42)年は、小学校児童数が5,509人、中学校生徒数が2,758人と現在と比較して約6割(ピーク時の約3割程度)を見込んでおります。

図2-2 児童生徒数の推移



### 推計方法(教育委員会集計)

- ・児童生徒推計(～2060(令和42)年まで)の手法について  
「公共施設管理計画」における【人口推移と将来人口の推計】の児童生徒数に市立学校在籍率を掛けて学校毎に按分。
- ・「公共施設管理計画」における【人口推移と将来人口の推計】について  
本市政策経営部が作成した2016(平成28)年10月1日の人口(実績)を基に算出した政策人口と、人口問題研究所の推計(平成27年度版)の生存率と純移動率から算出されている。  
【人口推移と将来人口の推計】は2050(令和32)年までのため、2051(令和33)～2060(令和42)年まで独自算出した。追加方法は、国立社会保障・人口問題研究所の生残率、純移動率の最後のデータである2035(令和17)～2040(令和22)年の数値を利用して2060(令和42)年までスライドした。
- ・市立小・中学校在籍率について  
「公共施設管理計画」における【人口推移と将来人口の推計】の2025(令和7)年度児童生徒数と「宇治市の児童生徒数推計」の2025(令和7)年度児童生徒数の差を在籍率とした。
- ・学校毎の按分について  
「宇治市の児童生徒数推計」の2025(令和7)年度児童生徒数から各学校割合を算出し、その数値で2026(令和8)年度以降の小中学校在籍者数を按分した。

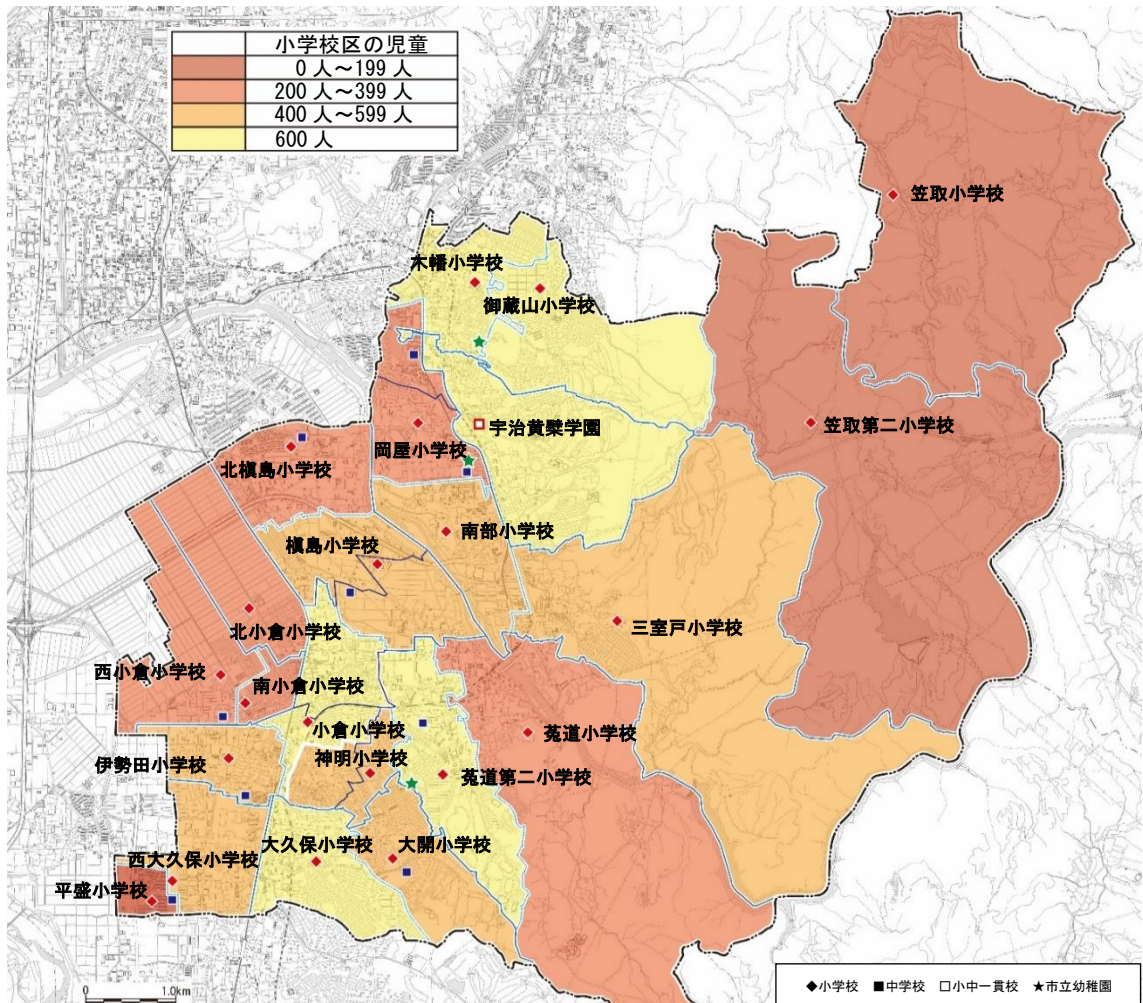
2) 小学校区別、年別の児童数推計

表2-1 小学校別、年別の児童数推計 (2020(令和2)年~2060(令和42)年)

小学校名	2020年 (令和2)	2021年 (令和3)	2030年 (令和12)	2040年 (令和22)	2050年 (令和32)	2060年 (令和42)
菟道小学校	267	263	249	216	198	175
菟道第二小学校	607	595	479	416	381	337
神明小学校	489	488	487	423	387	343
横島小学校	500	502	382	332	304	269
北横島小学校	304	294	320	278	255	226
小倉小学校	690	661	599	521	476	422
伊勢田小学校	433	422	379	329	301	267
西小倉小学校	313	316	292	254	232	206
北小倉小学校	244	235	150	130	119	105
南小倉小学校	232	223	204	177	162	143
大久保小学校	849	810	647	562	514	456
大開小学校	400	401	403	350	320	283
西大久保小学校	331	342	332	288	264	234
平盛小学校	158	153	113	98	90	80
宇治小学校	749	740	645	559	512	453
三室戸小学校	450	434	330	287	262	232
南部小学校	434	433	322	280	256	227
岡屋小学校	381	373	333	289	265	235
木幡小学校	728	716	657	571	523	463
御蔵山小学校	765	712	484	420	384	341
笠取小学校	20	15	1	1	1	1
笠取第二小学校	11	10	15	13	12	11
小学校計	9,355	9,138	7,823	6,794	6,218	5,509

(宇治市教育委員会集計)

図2-3 現在(令和2年)における小学校区の児童数



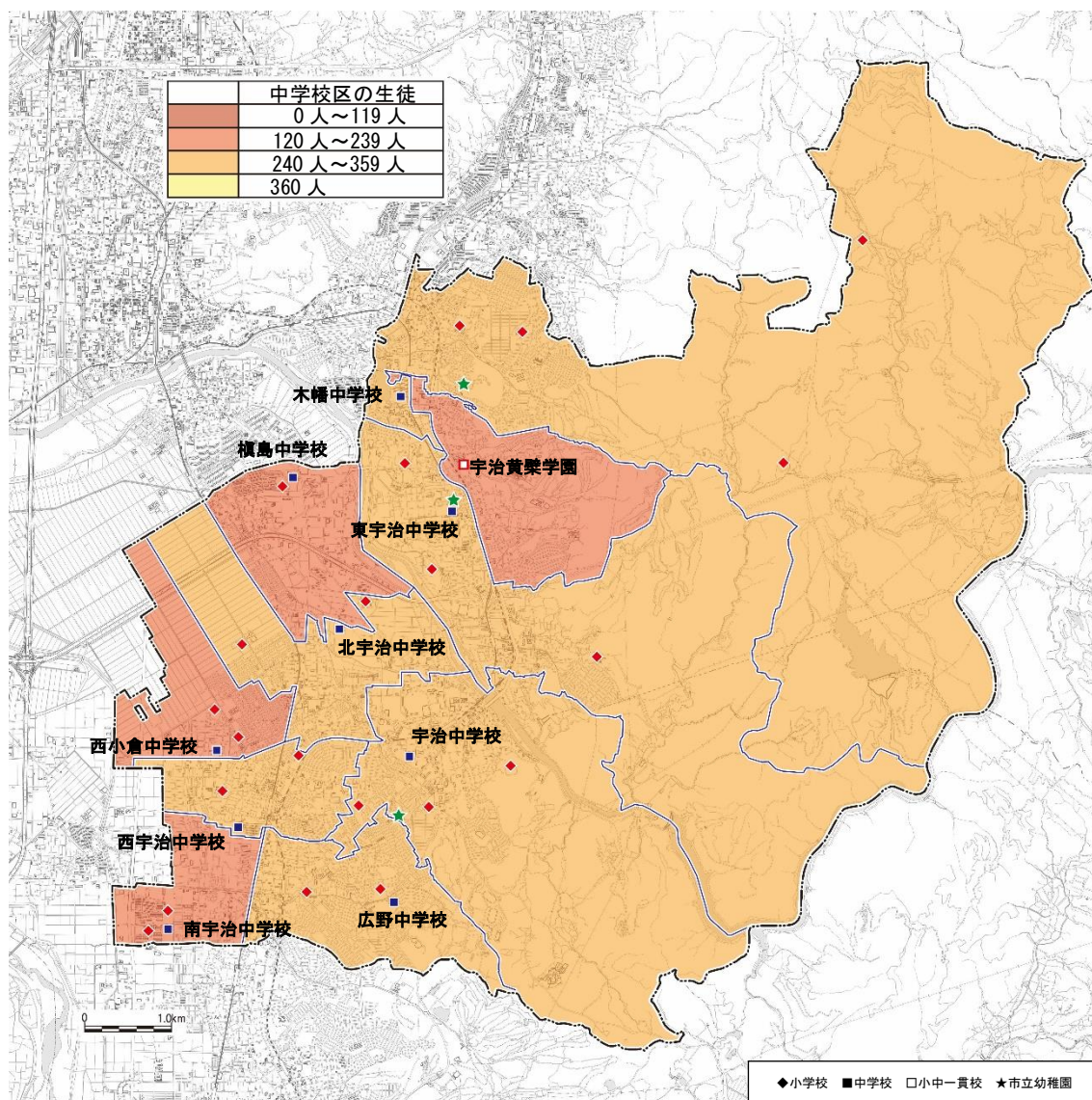
3) 中学校区別、年別の児童数推計

表2-2 中学校別、年別の生徒数推計(2020(令和2)年~2060(令和42)年)

中学校名	2020年 (令和2)	2021年 (令和3)	2030年 (令和12)	2040年 (令和22)	2050年 (令和32)	2060年 (令和42)
宇治中学校	563	543	488	425	383	346
北宇治中学校	527	536	399	347	313	283
榎島中学校	308	308	270	235	212	191
西小倉中学校	255	265	217	189	171	154
西宇治中学校	475	448	340	296	268	241
南宇治中学校	250	253	212	184	167	150
広野中学校	614	640	509	443	400	362
東宇治中学校	556	549	461	402	363	327
木幡中学校	893	883	667	580	524	473
黄檗中学校	345	348	325	283	256	231
中学校計	4,786	4,773	3,888	3,384	3,057	2,758

(宇治市教育委員会集計)

図2-4 現在(令和2年)における中学校区の生徒数

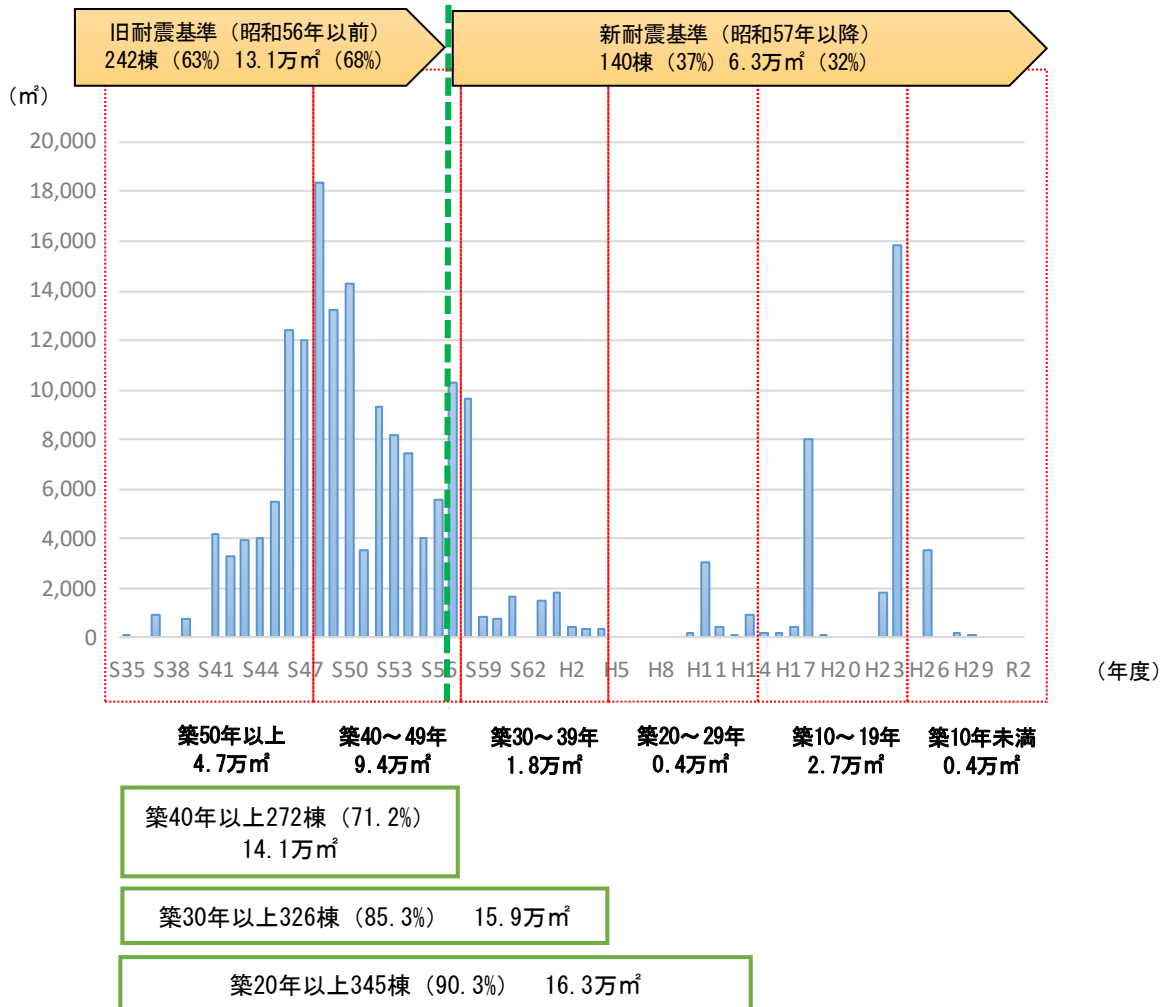


## 2. 学校施設を取り巻く状況（施設関連経費と施設活用状況）

### （1）保有施設の建設年度

本市の学校施設は1970(昭和45)～80(昭和55)年代に多く整備されており、2020(令和2)年現在、建築後30年以上経過している学校施設は、全体の約8割を占めている状況になっています(全382棟・19.4万㎡の状況)。

図2-5 建設年度別延床面積（小規模施設除く）



## (2) 施設関連経費の状況

学校施設関連経費は2015(平成27)年度から2019(令和元)年度までの5ヵ年で総額約72.2億円、平均投資経費14.4億円となります。その内訳は下記の通りとなります。

この期間の主要経費はライフライン改修33.5億円(トイレ改修含む)、非構造部材の耐震改修4.2億円となっています。

表2-3 学校施設関連経費の状況

単位：千円

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計	平均
大規模改造経費	679,472	1,049,187	1,112,354	950,555	1,011,217	4,802,785	960,557
施設整備経費	79,353	69,019	105,618	188,584	52,171	494,745	98,949
施設管理経費	393,072	385,731	398,072	375,678	370,258	1,922,811	384,562
維持修繕費	77,741	71,303	72,981	61,910	71,854	355,789	71,158
光熱水費	315,331	314,428	325,091	313,768	298,404	1,567,022	313,404
電気	140,066	134,056	139,092	132,183	106,087	651,484	130,297
ガス	50,134	48,895	55,177	57,302	55,158	266,666	53,333
水道	125,131	131,477	130,822	124,283	137,159	648,872	129,774
合計	1,151,897	1,503,937	1,616,044	1,514,817	1,433,646	7,220,341	1,444,068

- 大規模改造経費＝概ね国庫補助対象になるような比較的大きな規模の改修工事  
(ライフライン・トイレ改修・非構造部材の耐震改修等、数千万円以上の工事)
- 施設整備経費＝概ね数千万円未満の改修工事  
(進入路改修・スロープ設置・門扉改修等)
- 施設管理経費・維持修繕費＝日々の管理上必要となる小規模の維持修繕等  
(ガラス修繕・小規模の修繕)

第2章 学校施設の実態と課題

(3) 保有教室の活用状況

本市の学校施設の保有普通教室の活用状況（2020(令和2)年5月時点）は約7割となっており、一部の学校を除き一定の余裕が発生しています。多様化する教育へのニーズに合わせ、様々な用途に活用しておりますが、今後、さらなる活用について、検討していく必要があります。

表2-4 学校施設別活用状況

令和2年5月1日現在

小学校名	所在地	開設年度	児童数	学級数			保有普通	保有特別教室												
				普	特	計		理科	生活	音楽	図工	家庭	視聴	PC	図書	特活	相談	計		
宇治小学校	五ヶ庄三番割27	M5	749	22	3	26	27	1		2	1	2		1	2	1	5	15		
笠取小学校	西笠取石原22	M6	20	4	0	4	4	1		1		1			1			4		
笠取第二小学校	炭山直谷31	M39	11	4	0	4	6	1		1				1	1			4		
菟道小学校	宇治塔川102	M6	267	11	2	13	17	1		1	1	1		1	1			6		
菟道第二小学校	宇治琵琶63-3	S28	607	19	3	22	25	1		1	1	1		1	1			6		
横島小学校	横島町吹前35	M15	500	16	2	18	26	1		1	1	1		1	2			7		
小倉小学校	小倉町西畑1-4	M6	690	22	2	24	27	1		1	1	1	1	1	1		2	9		
大久保小学校	広野町中島1-1	M14	849	26	3	29	33	1		1	1	1		1	1		2	8		
木幡小学校	木幡赤塚4	S42	728	23	1	24	28	1		1	1	1		1	1		1	7		
西小倉小学校	伊勢田町遊田69	S44	313	12	2	14	24	1		1	1	1		1	1			6		
西大久保小学校	大久保町旦椋25	S45	331	12	2	14	22	1		1	1	1		1	1			6		
南部小学校	五ヶ庄戸ノ内15-1	S46	434	14	1	15	24	1		1	1	1		1	1		1	7		
神明小学校	神明石塚32	S47	489	17	3	20	24	1		1	1	1		1	1		1	7		
御蔵山小学校	木幡御蔵山39-4	S48	765	23	2	25	33	1		1		1		1	1		1	6		
北小倉小学校	小倉町堰池72	S48	244	11	1	12	23	1		1	1	1		1	1			6		
伊勢田小学校	伊勢田町井尻3	S49	433	15	2	17	25	1		1	1	1		1	1			6		
岡屋小学校	五ヶ庄寺界道37-3	S49	381	12	3	15	26	1		1	1	1		1	1			6		
三室戸小学校	菟道岡谷16-2	S50	450	14	2	16	19	1		1	1	1		1	1		1	7		
平盛小学校	大久保町平盛91-3	S50	158	6	3	9	22	1		1	1	1	1	1	1		1	8		
大開小学校	広野町大開35	S51	400	13	1	14	22	1		1	1	1		1	1			6		
南小倉小学校	小倉町南浦40-1	S53	232	9	2	11	23	1		1	1	1		1	1			6		
北横島小学校	横島町本屋敷40-2	S58	304	12	2	14	19	1		1	1	1		1	1			6		
計			9,355	318	42	360	499	22		23	19	22		2	21		24	15	149	
中学校名	所在地	開設年度	生徒数	学級数			保有普通	保有特別教室												
				普	特	計		理科	音楽	美術	技術	家庭	外国	視聴	PC	図書	特活	相談	計	
東宇治中学校	五ヶ庄池ノ浦36-1	S22	556	15	2	17	33	3	2	1	2	2		1	1	1		4	17	
宇治中学校	宇治矢落64-1	S22	563	16	2	18	18	2	2	1	1	2			1	1		3	13	
西宇治中学校	伊勢田町南山21-1	S31	475	13	2	15	18	2	2	1	2	2		1	1	1	1	2	15	
北宇治中学校	横島町島前33	S47	527	15	3	18	24	2	2	1	2	2		1	1	2		5	18	
木幡中学校	木幡内畑34	S49	893	24	4	28	32	2	2	1	2	2		1	1	1	1	2	15	
南宇治中学校	大久保町平盛31-5	S51	250	8	2	10	24	2	2	1	2	2		1	1	1	1	3	16	
西小倉中学校	伊勢田町遊田7-1	S53	255	9	2	11	19	2	2	1	2	2		1	1	1	1	3	16	
横島中学校	横島町本屋敷35-1	S57	308	9	3	12	15	1	1	1	2	1			1	1		3	11	
広野中学校	広野町尖山3	S59	614	16	4	20	21	2	1	1	2	2		1	1	1	1	3	15	
黄栗中学校	五ヶ庄三番割27	H24	345	9	2	11	13	2	(2)		1	(2)			(1)	(2)	(1)	(5)	3	
計			4,786	134	26	160	217	20	16	9	18	17		7	9	10	5	28	139	
幼稚園名	所在地	開設年度	幼児数	学級数		保育室	遊戯													
				普	計															
東宇治幼稚園	五ヶ庄梅林官有地	S19	58	3		3	5	1												
神明幼稚園	宇治野神57	S44	30	2		2	5	1												
木幡幼稚園	木幡檜尾47-1	S51	24	2		2	4	1												
計			112	7		7	14	3												

### 3. 学校施設の劣化状況

学校施設全体（34施設）のうち1980(昭和55)年以前の旧耐震基準の施設は、施設全体の約8割にあたる27施設（小学校17校、中学校7校、幼稚園3園）ありますが、耐震診断及び耐震補強は実施済みであり、令和2年現在、すべての学校施設が耐震基準を満たしております。

本計画を策定するにあたって、目視による現地調査を基に部位別に劣化状況を把握して評価を行うとともに、アンケート調査及びヒアリングから施設の劣化による今後の課題を把握しました。

#### (1) 現地調査に基づく劣化状況

建物の屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備・機械設備の劣化状況を把握するため、学校施設について目視による現地調査を実施、施設の健全性・劣化状況を把握し、評価しました。

##### 1) 評価方法

###### ① 評価基準

屋根・屋上、外壁、内部仕上げは、目視による調査で評価します。一方、電気設備・機械設備については、目視だけでは劣化度の判断ができないため、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本として総合的に評価します。

表2-5 部位別の評価基準

部位	評価基準	
評価	屋根・屋上、外壁、内部仕上げ	電気設備、機械設備
A	概ね良好	20年未満
B	部分的に劣化 (安全上、機能上問題なし)	20～40年
C	広範囲に劣化 (安全上、機能上不具合の兆し)	40年以上
D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し、施設運営に支障を与えている)	経過年数に関わらず、著しい劣化事象がある場合

第2章 学校施設の実態と課題

2) 劣化状況判定結果 (校舎毎)

学校名	番号	校舎名	面積	構造	築年度	築年数	耐震基準	耐震工事	区分	劣化状況調査					
										屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
東宇治中学校	1	南校舎東棟	1,145	RC	1962 (S37) 他	58	旧	H22	長寿命	C	C	C	C	C	40
東宇治中学校	2	南校舎中棟	1,700	RC	1970 (S45) 他	50	旧	H22	長寿命	C	C	C	C	C	40
東宇治中学校	3	特別教室棟	250	RC	1972 (S47)	48	旧	OK	長寿命	B	C	C	C	C	43
東宇治中学校	4	東校舎南棟	790	RC	1980 (S55)	40	旧	H22	長寿命	B	C	C	C	C	43
東宇治中学校	5	北校舎棟	844	RC	1982 (S57)	38	新	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
東宇治中学校	6	図書特別教室棟	317	S	1988 (S63)	32	新	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
東宇治中学校	7	東校舎北棟	527	RC	1982 (S57)	38	新	-	長寿命	B	C	C	C	C	43
東宇治中学校	8	南校舎西棟	1,986	RC	1971 (S46) 他	49	旧	H22	長寿命	B	B	C	C	C	53
東宇治中学校	9	第一体育館	692	RC	1964 (S39)	56	旧	H22	長寿命	B	C	C	C	C	43
東宇治中学校	10	第二体育館	1,004	S	1986 (S61)	34	新	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
菟道小学校	1	東校舎棟	1,514	RC	1966 (S41)	54	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	C	53
菟道小学校	2	西校舎棟 (給食室含む)	2,227	RC	1966 (S41) 他	54	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	C	53
菟道小学校	3	屋内運動場	919	S	2002 (H14)	18	新	-	長寿命	B	C	A	A	A	81
小倉小学校	1	北校舎棟	512	RC	1966 (S41) 他	54	旧	H23	長寿命	B	C	C	C	C	43
小倉小学校	2	南校舎棟	1,789	RC	1971 (S46) 他	49	旧	H23	長寿命	B	C	C	C	C	43
小倉小学校	3	中校舎棟	1,756	RC	1978 (S53)	42	旧	H23	長寿命	B	B	C	C	C	53
小倉小学校	4	西校舎棟	1,019	RC	1978 (S53) 他	42	旧	OK	長寿命	B	B	C	C	C	53
小倉小学校	5	給食室棟	491	RC	2016 (H28) 他	4	新	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
小倉小学校	6	屋内運動場	608	RC	1973 (S48)	47	旧	OK	長寿命	B	B	C	C	C	53
木幡小学校	1	南校舎棟 (給食室含む)	3,691	RC	1967 (S42) 他	53	旧	H20	長寿命	B	C	C	C	C	43
木幡小学校	2	西校舎棟	1,843	RC	2011 (H23)	9	新	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
木幡小学校	3	屋内運動場	609	RC	1969 (S44)	51	旧	H20	長寿命	B	B	C	C	C	53
西宇治中学校	1	南校舎棟	2,241	RC	1967 (S42) 他	53	旧	H23	長寿命	C	D	C	C	C	31
西宇治中学校	2	特別教室棟	250	RC	1975 (S50)	45	旧	OK	長寿命	C	C	C	C	C	40
西宇治中学校	3	東校舎棟	3,014	RC	1999 (H11)	21	新	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
西宇治中学校	4	屋内運動場	952	S	1989 (H1)	31	新	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
西宇治中学校	5	柔剣道場	393	S	2000 (H12)	20	新	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
横島小学校	1	北校舎棟 (給食室含む)	3,141	RC	1968 (S43) 他	52	旧	H20	長寿命	B	B	C	C	C	53
横島小学校	2	東校舎棟	1,808	RC	1975 (S50) 他	45	旧	H20	長寿命	B	B	C	C	C	53
横島小学校	3	屋内運動場	609	RC	1971 (S46)	49	旧	H20	長寿命	B	B	C	C	C	53
西小倉小学校	1	北校舎棟	2,270	RC	1968 (S43) 他	52	旧	H25	長寿命	C	C	C	C	C	40
西小倉小学校	2	南校舎棟	2,376	RC	1969 (S44) 他	51	旧	H25	長寿命	C	C	C	C	C	40
西小倉小学校	3	給食室棟	157	S	1969 (S44) 他	51	旧	H26	長寿命	B	B	C	C	C	53
西小倉小学校	4	屋内運動場	609	RC	1970 (S45)	50	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	C	53
神明幼稚園	1	中園舎棟 (用務員室含む)	348	RC	1968 (S43) 他	52	旧	OK	長寿命	B	B	C	C	C	53
神明幼稚園	2	西園舎棟	110	RC	1971 (S46)	49	旧	-	長寿命	B	B	C	C	C	53
神明幼稚園	3	東園舎棟	124	RC	1973 (S48)	47	旧	-	長寿命	B	B	C	C	C	53
西大久保小学校	1	南校舎棟	2,455	RC	1969 (S44) 他	51	旧	H24	長寿命	B	B	C	C	C	53
西大久保小学校	2	北校舎棟 (給食室含む)	2,308	S	1970 (S45) 他	50	旧	OK	長寿命	B	B	C	C	C	53
西大久保小学校	3	屋内運動場	615	RC	1972 (S47)	48	旧	OK	長寿命	B	B	C	C	C	53
東宇治幼稚園	1	園舎棟 (用務員室含む)	618	RC	1970 (S45) 他	50	旧	OK	長寿命	B	B	C	C	C	53



## 第2章 学校施設の実態と課題

学校名	番号	校舎名	面積	構造	築年度	築年数	耐震基準	耐震工事	区分	劣化状況調査					健全度 (100点満点)
										屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
南部小学校	1	北校舎棟(給食室含む)	2,850	RC	1971 (S46) 他	49	旧	H22	長寿命	C	C	C	C	C	40
南部小学校	2	南校舎棟	1,634	RC	1973 (S48) 他	47	旧	H22	長寿命	C	C	C	C	C	40
南部小学校	3	昇降口(南北校舎中央)	65	S	2003 (H15)	17	新	-	長寿命	B	B	B	A	A	81
南部小学校	4	屋内運動場	608	RC	1972 (S47)	48	旧	OK	長寿命	B	B	C	C	C	53
北宇治中学校	1	北校舎棟	2,269	RC	1971 (S46) 他	49	旧	H20	長寿命	B	C	C	C	C	43
北宇治中学校	2	南校舎棟	3,027	RC	1971 (S46) 他	49	旧	H20	長寿命	B	C	C	C	C	43
北宇治中学校	3	技術棟	250	S	1976 (S51)	44	旧	H20	長寿命	C	C	C	C	C	40
北宇治中学校	4	昇降口(南北校舎中央)	26	S	1984 (S59)	36	-	-	長寿命	B	C	C	C	C	43
北宇治中学校	5	屋内運動場	822	RC	1972 (S47)	48	旧	H20	長寿命	B	B	C	C	C	53
北宇治中学校	6	柔剣道場	393	S	1988 (S63)	32	新	-	長寿命	C	C	C	B	B	49
神明小学校	1	中校舎棟(給食室含む)	1,575	RC	1971 (S46) 他	49	旧	H23	長寿命	B	C	C	C	C	43
神明小学校	2	北校舎棟	1,623	RC	1971 (S46) 他	49	旧	H23	長寿命	B	C	C	C	C	43
神明小学校	3	南校舎棟	1,268	RC	1972 (S47)	48	旧	H23	長寿命	B	C	C	C	C	43
神明小学校	4	特別教室棟	133	S	2012 (H24)	8	新	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
神明小学校	5	屋内運動場	617	RC	1972 (S47)	48	旧	OK	長寿命	B	C	C	C	C	43
北小倉小学校	1	北校舎棟(給食室含む)	2,577	RC	1972 (S47) 他	48	旧	H25	長寿命	B	C	C	C	C	43
北小倉小学校	2	南校舎棟	2,068	RC	1973 (S48) 他	47	旧	H25	長寿命	B	C	C	C	C	43
北小倉小学校	3	屋内運動場	610	RC	1973 (S48)	47	旧	H21	長寿命	B	C	C	C	C	43
御蔵山小学校	1	北校舎棟(給食室含む)	2,603	RC	1972 (S47) 他	48	旧	H17	長寿命	B	B	C	C	C	53
御蔵山小学校	2	南校舎棟	2,304	RC	1973 (S48) 他	47	旧	H17	長寿命	B	B	C	C	C	53
御蔵山小学校	3	特別教室棟	109	S	2003 (H15)	17	新	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
御蔵山小学校	4	屋内運動場	613	RC	1973 (S48)	47	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	C	53
伊勢田小学校	1	北校舎棟	1,782	RC	1973 (S48) 他	47	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	C	53
伊勢田小学校	2	東校舎棟(給食室含む)	1,340	RC	1973 (S48) 他	47	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	C	53
伊勢田小学校	3	南校舎棟	1,775	RC	1973 (S48) 他	47	旧	H21	長寿命	C	C	C	C	C	40
伊勢田小学校	4	屋内運動場	608	RC	1974 (S49)	46	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	C	53
岡屋小学校	1	北校舎棟	1,500	RC	1973 (S48) 他	47	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	C	53
岡屋小学校	2	東校舎棟(給食室含む)	1,853	RC	1973 (S48) 他	47	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	C	53
岡屋小学校	3	南校舎棟	1,292	RC	1979 (S54) 他	41	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	C	53
岡屋小学校	4	屋内運動場	609	RC	1974 (S49)	46	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	B	57
木幡中学校	1	東校舎棟	1,812	RC	1973 (S48) 他	47	旧	H24	長寿命	B	B	C	C	C	53
木幡中学校	2	特別教室棟	250	RC	1973 (S48)	47	旧	OK	長寿命	B	B	C	C	C	53
木幡中学校	3	北校舎東棟	1,411	RC	1978 (S53) 他	42	旧	H24	長寿命	B	B	C	C	C	53
木幡中学校	4	図書室棟	315	S	1989 (H1)	31	新	-	長寿命	B	C	C	B	B	52
木幡中学校	5	南校舎棟	2,320	RC	1973 (S48) 他	47	旧	H24	長寿命	B	B	C	C	C	53
木幡中学校	6	北校舎西棟	516	RC	1982 (S57)	38	新	-	長寿命	B	B	C	B	B	62
木幡中学校	7	屋内運動場	821	RC	1974 (S49)	46	旧	H22	長寿命	B	B	B	C	C	66
木幡中学校	8	第二屋内運動場	485	S	1986 (S61)	34	新	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
平盛小学校	1	北校舎棟	1,255	RC	1974 (S49) 他	46	旧	H22	長寿命	B	B	C	C	C	53
平盛小学校	2	東校舎棟(給食室含む)	1,593	RC	1974 (S49) 他	46	旧	H24	長寿命	B	B	C	C	C	53
平盛小学校	3	南校舎棟	2,024	RC	1974 (S49) 他	46	旧	H24	長寿命	B	B	C	C	C	53
平盛小学校	4	屋内運動場	609	RC	1974 (S49)	46	旧	OK	長寿命	B	B	C	C	C	53
三室戸小学校	1	北校舎棟	1,879	RC	1974 (S49)	46	旧	H24	長寿命	B	C	C	C	C	43
三室戸小学校	2	西校舎棟(給食室含む)	1,717	RC	1974 (S49) 他	46	旧	H24	長寿命	C	B	C	C	C	50
三室戸小学校	3	南校舎棟	238	RC	1982 (S57) 他	38	新	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
三室戸小学校	4	屋内運動場	654	RC	1974 (S49)	46	旧	H22	長寿命	B	B	C	C	C	53

第2章 学校施設の実態と課題

学校名	番号	校舎名	面積	構造	築年度	築年数	耐震基準	耐震工事	区分	劣化状況調査					健全度 (100点満点)
										屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
大開小学校	1	東校舎棟(給食室含む)	3,737	RC	1975 (S50)他	45	旧	H23	長寿命	B	C	C	C	C	43
大開小学校	2	中校舎棟	915	RC	1976 (S51)他	44	旧	H23	長寿命	B	B	C	C	C	53
大開小学校	3	屋内運動場	608	RC	1975 (S50)	45	旧	H22	長寿命	B	B	C	C	C	53
宇治中学校	1	南校舎棟	2,022	RC	1975 (S50)他	45	旧	H23	長寿命	B	B	C	C	C	53
宇治中学校	2	西校舎棟	1,329	RC	1982 (S57)	38	新	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
宇治中学校	3	北校舎棟	1,105	RC	1982 (S57)	38	新	-	長寿命	B	C	C	B	B	52
宇治中学校	4	屋内運動場(特別教室棟含む)	3,394	RC	2014 (H26)他	6	新	-	長寿命	A	B	A	A	A	93
宇治中学校	5	柔剣道場	393	S	1989 (H1)	31	新	-	長寿命	B	B	C	C	C	53
宇治中学校	6	屋外便所棟	158	RC	2014 (H26)	6	新	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
南宇治中学校	1	西校舎棟	2,711	RC	1975 (S50)他	45	旧	H24	長寿命	C	C	C	C	C	40
南宇治中学校	2	技術棟	250	S	1976 (S51)	44	旧	H21	長寿命	C	C	C	C	C	40
南宇治中学校	3	南校舎棟	2,026	RC	1975 (S50)他	45	旧	H24	長寿命	C	C	C	C	C	40
南宇治中学校	4	北校舎棟	1,277	RC	1979 (S54)他	41	旧	H24	長寿命	C	C	C	C	C	40
南宇治中学校	5	屋内運動場	838	RC	1975 (S50)	45	旧	OK	長寿命	C	B	C	C	C	50
南宇治中学校	6	柔剣道場	393	S	1988 (S63)	32	新	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
木幡幼稚園	1	園舎棟(用務員室含む)	442	S	1977 (S52)他	43	旧	H22	要調査	B	B	C	C	C	53
南小倉小学校	1	東校舎棟(給食室含む)	2,022	RC	1977 (S52)他	43	旧	H25	長寿命	C	B	C	C	C	50
南小倉小学校	2	北校舎棟	1,396	RC	1978 (S53)	42	旧	H25	長寿命	C	B	C	C	C	50
南小倉小学校	3	南校舎棟	1,792	RC	1977 (S52)	43	旧	H25	長寿命	C	B	C	C	C	50
南小倉小学校	4	屋内運動場	637	S	1977 (S52)	43	旧	H24	長寿命	B	B	C	C	C	53
西小倉中学校	1	北校舎棟	2,094	RC	1977 (S52)他	43	旧	H25	長寿命	C	C	C	C	C	40
西小倉中学校	2	技術棟	538	S	1978 (S53)	42	旧	H25	長寿命	C	C	C	C	C	40
西小倉中学校	3	南校舎棟	839	RC	1982 (S57)	38	新	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
西小倉中学校	4	中校舎棟	1,640	RC	1977 (S52)他	43	旧	H25	長寿命	C	C	C	C	C	40
西小倉中学校	5	東校舎棟	1,009	RC	1977 (S52)他	43	旧	OK	長寿命	C	C	C	C	C	40
西小倉中学校	6	屋内運動場	822	S	1977 (S52)	43	旧	H21	長寿命	B	B	C	C	C	53
西小倉中学校	7	柔剣道場	393	S	1990 (H2)	30	新	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
菟道第二小学校	1	北校舎棟	2,036	RC	1979 (S54)他	41	旧	H23	長寿命	B	B	C	C	C	53
菟道第二小学校	2	南校舎棟	2,825	RC	1979 (S54)他	41	旧	H23	長寿命	B	B	C	C	C	53
菟道第二小学校	3	屋内運動場	637	S	1980 (S55)	40	旧	H22	長寿命	B	B	C	C	C	53
横島中学校	1	南校舎棟	1,755	RC	1981 (S56)	39	新	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
横島中学校	2	技術棟	250	S	1981 (S56)	39	新	-	長寿命	B	C	C	B	B	52
横島中学校	3	中校舎棟	1,501	RC	1981 (S56)他	39	新	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
横島中学校	4	北校舎棟	608	RC	1981 (S56)他	39	新	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
横島中学校	5	屋内運動場	820	S	1981 (S56)	39	新	-	長寿命	B	B	C	B	B	62
横島中学校	6	柔剣道場	393	S	1991 (H3)	29	新	-	長寿命	B	B	C	B	B	62
北横島小学校	1	北校舎棟	1,709	RC	1982 (S57)	38	新	-	長寿命	B	B	C	C	C	53
北横島小学校	2	東校舎棟(給食室含む)	1,859	RC	1982 (S57)他	38	新	-	長寿命	B	B	C	C	C	53
北横島小学校	3	南校舎棟	1,079	RC	1985 (S60)他	35	新	-	長寿命	B	B	C	C	C	53
北横島小学校	4	屋内運動場	638	S	1982 (S57)	38	新	-	長寿命	B	B	C	C	C	53
広野中学校	1	東校舎棟	2,224	RC	1983 (S58)	37	新	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
広野中学校	2	技術棟	250	S	1983 (S58)	37	新	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
広野中学校	3	南校舎棟	2,138	RC	1983 (S58)他	37	新	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
広野中学校	4	北校舎棟	1,405	RC	1983 (S58)他	37	新	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
広野中学校	5	屋内運動場	933	S	1983 (S58)	37	新	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
広野中学校	6	柔剣道場	393	S	1992 (H4)	28	新	-	長寿命	C	B	B	B	B	72

## 第2章 学校施設の実態と課題

学校名	番号	校舎名	面積	構造	築年度	築年数	耐震基準	耐震工事	区分	劣化状況調査					健全度 (100点満点)
										屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
笠取小学校	1	校舎棟	994	RC	1983 (S58) 他	37	新	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
笠取小学校	2	屋内運動場	491	S	1983 (S58)	37	新	-	長寿命	B	C	B	B	B	65
笠取第二小学校	1	校舎棟	994	RC	1983 (S58) 他	37	新	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
笠取第二小学校	2	屋内運動場	562	S	1984 (S59)	36	新	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
大久保小学校	1	東校舎棟	4,631	RC	2007 (H19)	13	新	-	長寿命	B	B	B	A	A	81
大久保小学校	2	南校舎棟	1,989	RC	2007 (H19)	13	新	-	長寿命	B	B	B	A	A	81
大久保小学校	3	屋内運動場	1,000	S	2007 (H19)	13	新	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
宇治黄檗学園	1	北校舎棟	4,424	RC	2012 (H24) 他	8	新	-	長寿命	A	B	A	A	A	93
宇治黄檗学園	2	東・南校舎棟(給食室含む)	8,220	RC	2012 (H24) 他	8	新	-	長寿命	A	B	A	A	A	93
宇治黄檗学園	3	屋内運動場	2,981	RC	2012 (H24) 他	8	新	-	長寿命	A	B	A	A	A	93

3) 劣化状況判定結果（項目毎のまとめ）

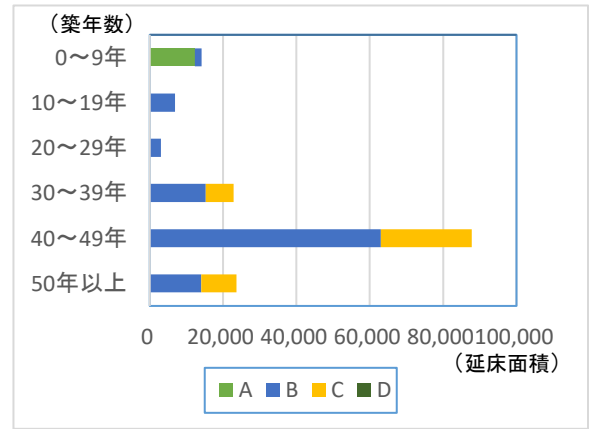
① 屋根・屋上防水

ア) 校舎（その他含む）

築年数 30 年を経過すると C 評価が現れ、築年数 40 年を経過すると C 評価の比率が高くなります。

また、ドレン詰りによる漏水を引起す施設が多く見られます。

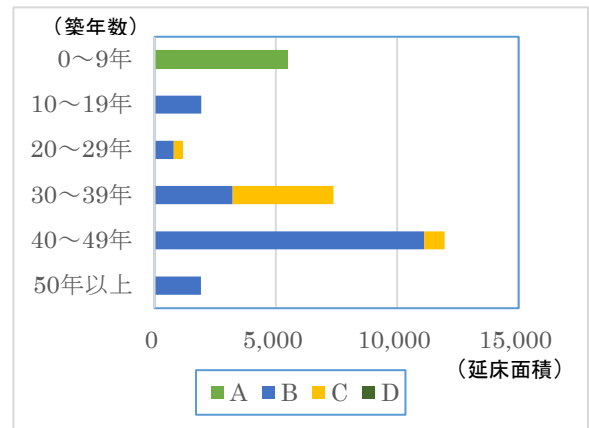
結果から、築年数 20 年程度毎に改修を実施するのが望ましいといえます。



イ) 屋内運動場・武道場

築年数 20 年を経過すると C 評価が現れ、築年数 30 年を経過すると発錆が進行して漏水が引起されて、C 評価の比率が高くなります。

同様に、築年数 20 年程度毎に改修を実施するのが望ましいといえます。



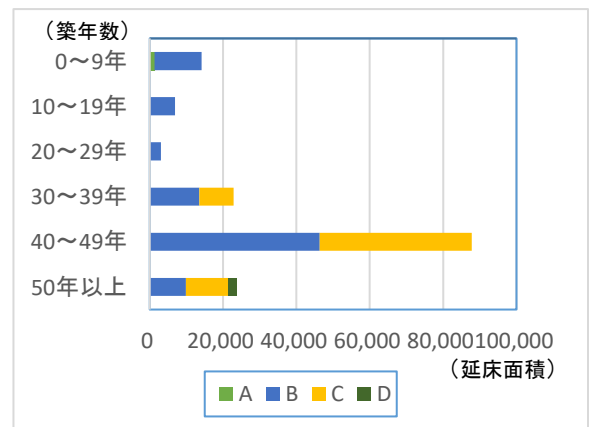
② 外壁

ア) 校舎（その他含む）

築年数 30 年を経過すると C 評価が現れ、築年数 40 年を経過すると C 評価の比率が高くなります。

クラックや塗膜の膨れ及び剥がれや剥落による露筋、建具周りを含めたシーリング硬化が進行しています。

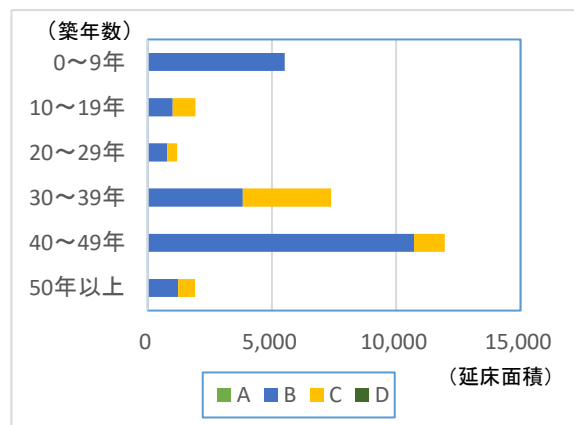
結果から、築年数 20 年程度毎に改修を実施するのが望ましいといえます。



イ) 屋内運動場・武道場

築年数 10 年を経過すると C 評価が現れ、築年数 30 年を経過すると C 評価の比率が高くなります。

結果から、築年数 20 年程度毎に改修を実施するのが望ましいといえます。

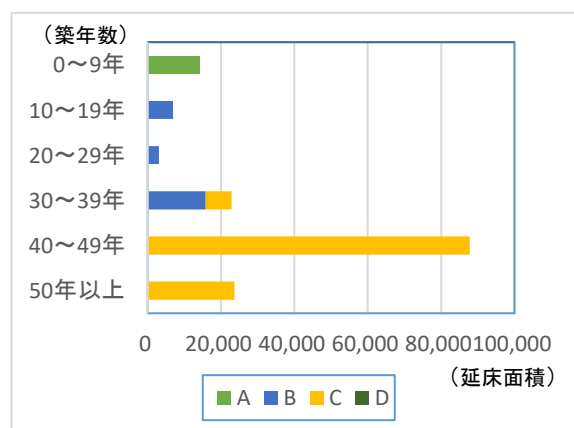


③ 内部仕上げ

ア) 校舎 (その他含む)

築年数 30 年を経過すると C 評価が現れ、築年数 40 年以上では、C 評価以下となる状況です。

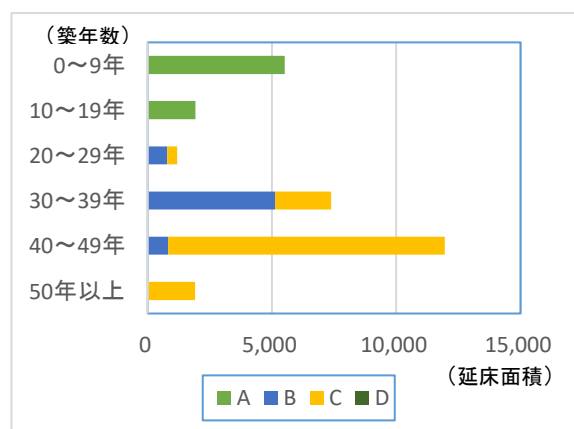
床仕上 (塗床) の欠損や剥離、天井ボードの漏水跡、壁ボードや腰壁の剥離やクラック、教室と廊下間の建具取付け不良等、経年に伴う劣化が進行している状況です。



イ) 屋内運動場・武道場

築年数 30 年を経過すると C 評価が現れ、築年数 40 年を経過すると C 評価の比率が大半となります。

体育館床や壁等劣化が経年に応じて劣化が進行している状況です。

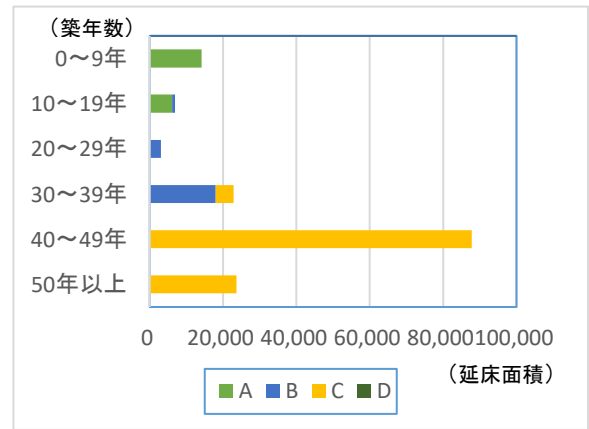


④ 電気設備

ア) 校舎 (その他含む)

築年数 30 年を経過すると C 評価が現れ、築年数 40 年以上では、C 評価以下となる状況です。

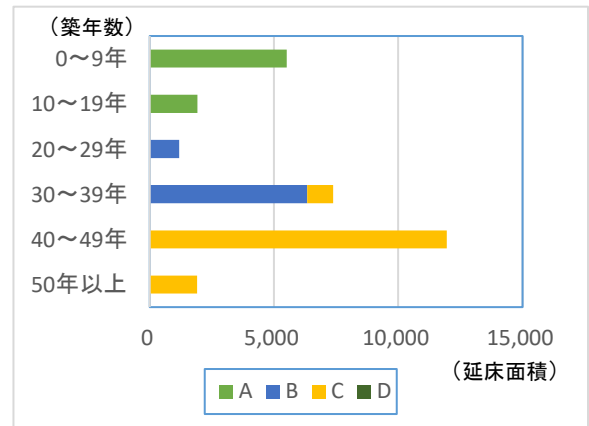
築年数 30 年以上の建物は、設備更新の検討が必要になっています。



イ) 屋内運動場・武道場

築年数 30 年を経過すると C 評価が現れ、築年数 40 年以上では、C 評価以下となる状況です。

築年数 30 年以上の建物は、設備更新の検討が必要になっています。

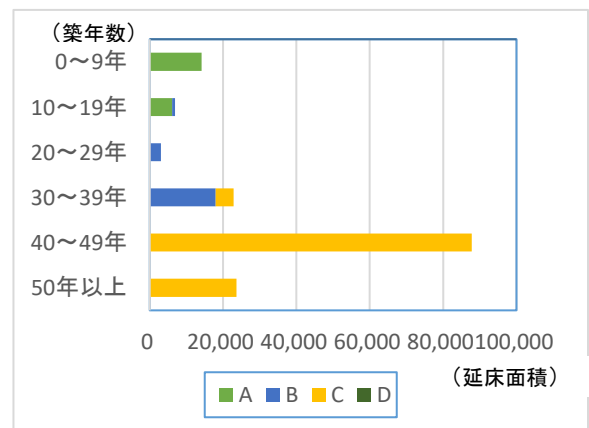


⑤ 機械設備

ア) 校舎 (その他含む)

築年数 30 年を経過すると C 評価が現れ、築年数 40 年以上では、C 評価以下となる状況です。

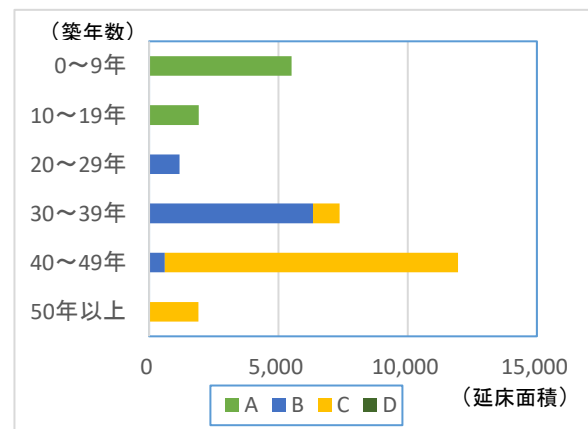
築年数 30 年以上の建物は、設備更新の検討が必要になっています。



イ) 屋内運動場・武道場

築年数 30 年を経過すると C 評価が現れます。

築年数 30 年以上の建物は、設備更新の検討が必要になっています。







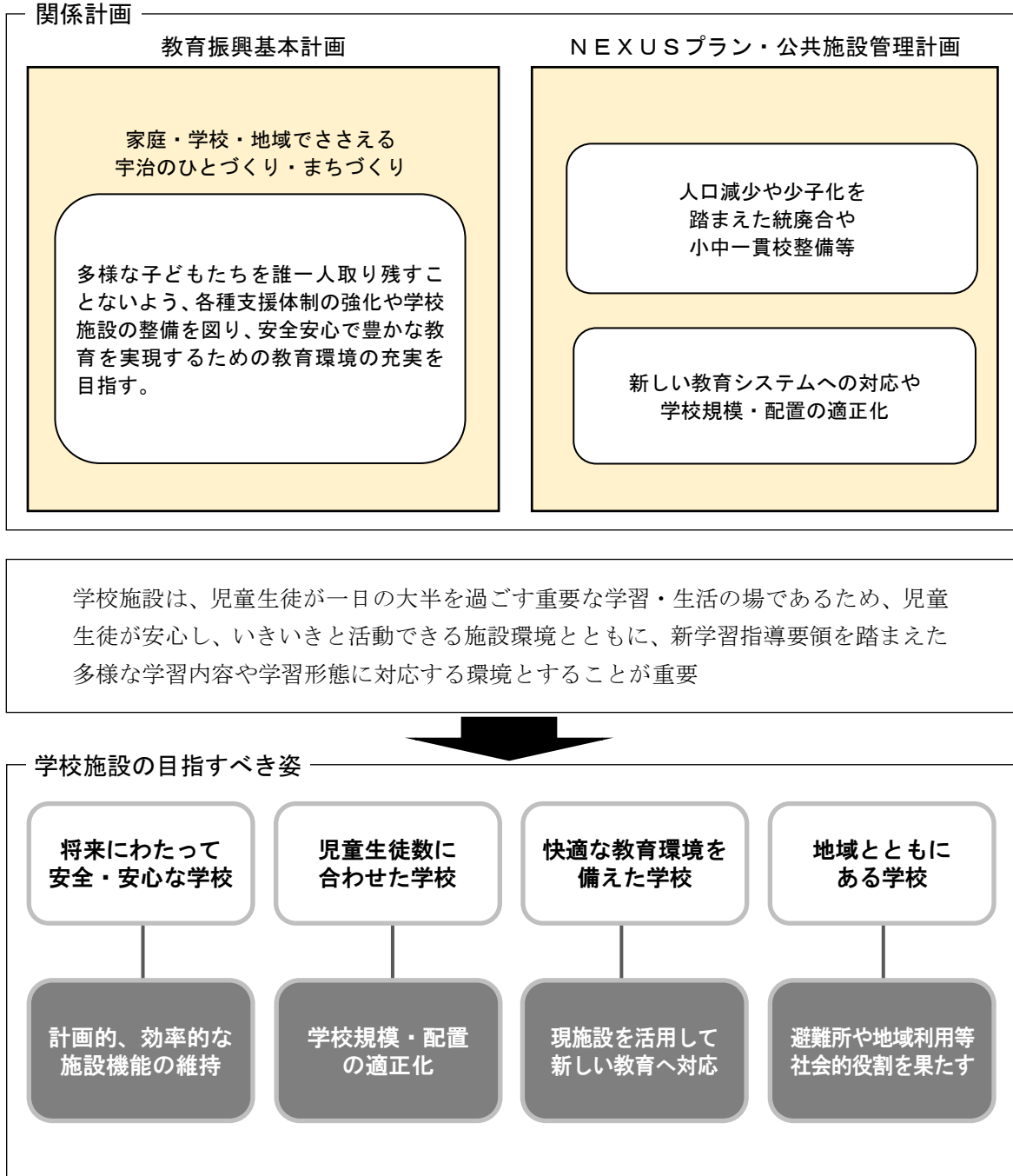
## 第3章 学校施設整備の基本的な考え方

## 1. 学校施設整備の基本的な考え方

### (1) 学校施設の目指すべき姿

教育委員会、学校、行政組織が取り組む教育指針である「教育振興基本計画」(2014(平成26)年度策定、2021(令和3)年度改定)や『宇治市小中一貫教育と学校規模等適正化の報告～NEXUSプラン～(以下「NEXUSプラン」という。)](2007(平成19)年度策定)、「公共施設管理計画」の考え方を基に、以下に本市における学校施設の目指すべき姿を提示します。

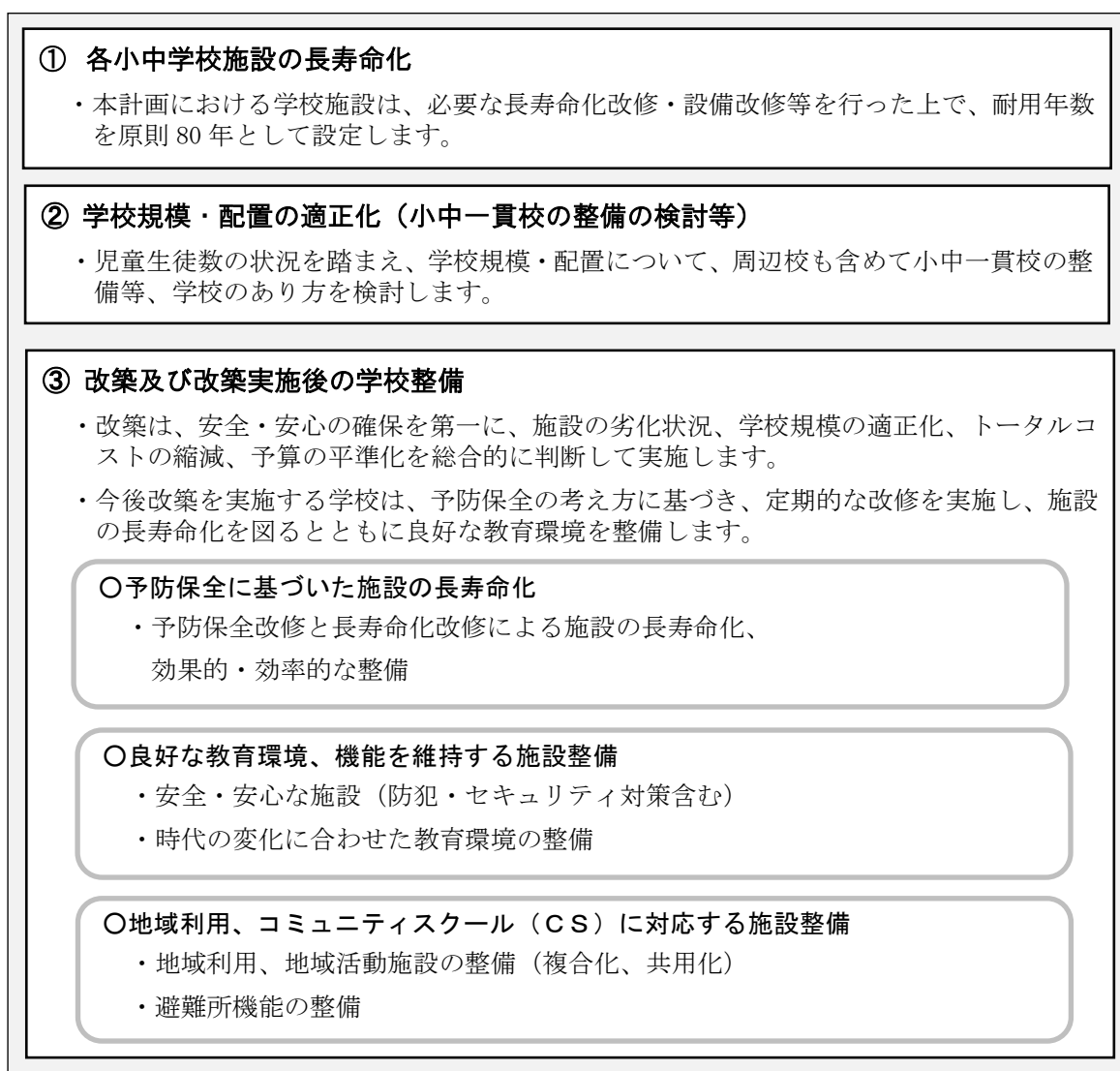
図3-1 学校施設の目指すべき姿



(2) 施設整備の基本的な考え方

本計画は、『第2章・学校施設の実態と課題』を踏まえ、『(1) 学校施設の目指すべき姿』に向け、学校施設の予防保全を計画的、効率的に実施し、学校施設の長寿命化を図ることを目指し、各学校の児童生徒数の推移に応じた整備方針とします。

図3-2 施設整備の基本的な考え方



## 2. 改修等の基本的な考え方

### (1) 目標耐用年数

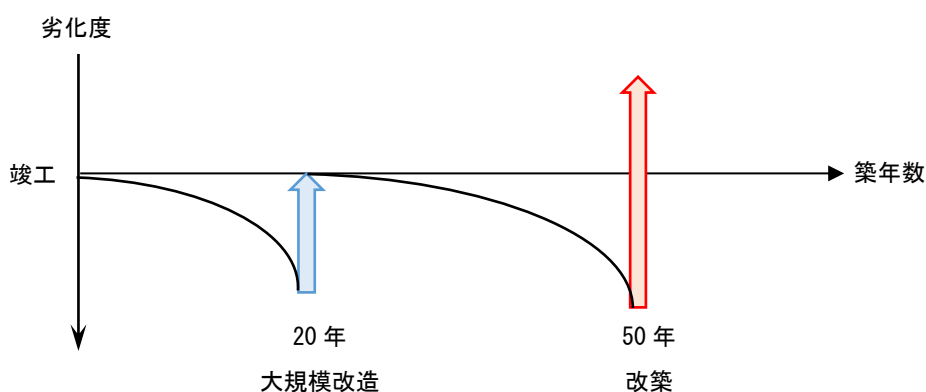
「建築物のライフサイクルコスト」(2019(令和元)年5月国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)では、建築物の望ましい耐用年数は、鉄筋コンクリート造、鉄骨造ともに60年とされ、特に高品質で使用年数が長いものは耐用年数が100年とされています。

また、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」(2015(平成27)年4月文部科学省)では、目標耐用年数について、適正な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70~80年程度、さらに、技術的には100年以上持たせるような長寿命化も可能であるとしています。

本計画における学校施設では、学校施設の長寿命化計画策定に係る手引を踏まえ、目標耐用年数を原則80年として設定します。

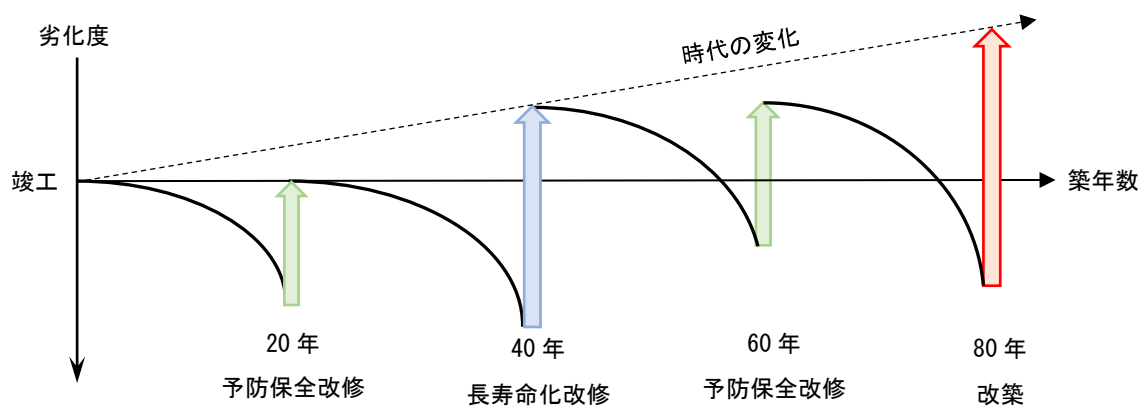
#### 1) 従来型の建物更新の考え方 (50年~60年で建物を改築する場合)

築年数20年に大規模改造、築年数50年に改築を実施します。



#### 2) 長寿命化型の建物更新の考え方 (80年で建物を改築する場合)

築年数20年及び長寿命化改修20年後に予防保全改修、築年数40年に長寿命化改修、築年数80年に改築を実施します。



## (2) 改修内容

現施設と今後改築・新築を行った後の施設について、それぞれ改修内容を示します。

### 1) 現施設について

必要な改修を行いながら原則 80 年間の使用を続け、その後改築することを基本にします。ただし、屋上改修・外壁補修等の施設の躯体に影響が大きい改修項目は、順次、本計画の早期（目途として 2033(令和 15)年まで）に実施します。

なお、現施設は 1970(昭和 45)～80(昭和 55)年代に約半数が集中して整備されておりますが、各施設の状況を踏まえ、80 年を目途として改築時期を平準化して想定するとともに、学校規模等の課題がある施設は、小中一貫校の整備等を別途検討するものとします。

以下に、具体的な改修項目を示します。

表 3-1. 早期に行う改修の実施予定項目

改修項目	改修内容
屋上防水層改修	防水層の部分修繕
金属屋根改修	金属屋根の部分塗装
外壁改修	外装クラック補修、シーリング改修（建具廻り含む）

表 3-2. 今後の整備を実施・検討する項目

改修項目	改修内容
校舎棟照明 LED 化	普通教室・特別教室等の照明 LED 化
校舎棟空調機器更新等	普通教室・特別教室棟の空調設備の更新 屋内運動場への空調機器新設検討（避難所施設の環境向上）
空き教室の多用途対応等	特別支援学級や地域活動室、ランチルーム等、既存教室の間仕切を改修してニーズに応じた多目的スペースを整備
プール改修	小学校のプール槽内の防水改修と濾過器の更新、中学校のプール解体
バリアフリー化の推進	経路の段差解消、エレベーターの新設、多目的トイレの増設等

### 2) 今後改築・新築を行った施設について（建設年次が新しい学校含む）

今後改築・新築を行う学校施設は、築年から 20 年間の経過ごとに、長寿命化改修や大規模改造（予防保全改修）を実施し、予防保全の考え方に基づいた目標耐用年数 80 年の施設の長寿命化を行い、良好な教育環境、機能を維持するための施設整備を実施します。

### 3. 改修等の一般的な整備水準

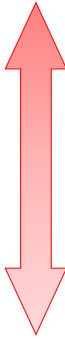
#### (1) 一般的な改修内容・優先度の分類

一般的な改修内容・優先度について、以下の通り示します。

なお、実際に改修を実施するにあたっては、施設の状況等に合わせて、必要な項目・内容を精査して、効果的・効率的な改修を実施します。

また、増築（児童生徒数増によるもの）、給食センター整備、ICT教育（GIGAスクール構想）環境の整備を行う情報教育関係設備、災害時における緊急対応は、本計画とは別途で個別に対応します。

表3-3. 改修目的別優先度

目的	内容	優先度
安全性	児童生徒等の利用者の安全を害する可能性がある項目 (非構造部材の耐震改修等)	高
長寿命化	建物の躯体劣化に繋がる可能性の高い項目 (外壁改修、屋上防水層改修等)	
継続性	用途上必要な機能で、学習環境に悪影響を及ぼす可能性がある項目 (空調機器更新、受水槽更新等)	
質の維持	活動上必要な機能で、日常メンテナンスを行う事で予防可能な項目	

(2) 一般的な改修項目

長寿命化改修、予防保全改修について、一般的な改修項目と内容を整理します。

1) 長寿命化改修の改修項目

表3-4. 長寿命化改修の改修項目

目的	改修項目	改修内容
長寿命化	屋上防水層改修	シート防水（2回目改修時には前回防水を撤去のこと）
	金属屋根改修	金属屋根・断熱（カバー工法）
	外壁改修	コンクリート中性化対策
		外装吹替及びクラック補修、シーリング改修（建具廻り含む）
	外部建具更新	アルミサッシ（カバー工法）更新に併せてLOW-Eガラスへ更新
	内装改修	内装（床・壁・天井）を更新（共用部含む）
	内部建具更新	スクールパーテーション更新 木造建具のスクールパーテーション化
給排水設備等更新	給排水配管設備、機器類の更新	
継続性	受変電設備更新	キュービクルの更新
	電気引込幹線改修	電気引込幹線設備（負荷開閉器、配管配線）の更新
	分電盤更新	盤類（分電盤、電灯盤、動力盤）の更新
	ガス設備等改修	プロパンガスから都市ガスへ切替え
	受水槽更新	受水槽の更新
	高架水槽更新	高架水槽の更新
質の維持	消防設備等改修	消防設備機器（受信機・総合盤等）の更新

2) 予防保全改修の改修項目

表3-5. 予防保全改修の改修項目

目的	改修項目	改修内容
長寿命化	屋上防水層改修	シート防水（2回目改修時には前回防水を撤去のこと）
	金属屋根改修	金属屋根・断熱（カバー工法）、塗装改修
	外壁改修	外装吹替及びクラック補修、シーリング改修（建具廻り含む）
安全性	外部建具更新	スチールサッシのアルミサッシ化に併せて強化ガラス化
	内部建具更新	スクールパーテーション更新 木造建具のスクールパーテーション化
継続性	校舎棟 空調機器更新	普通教室・特別教室棟等の空調設備更新

3) 更新周期

改修項目ごとの更新周期を以下の一覧に整理します。

表3-6. 改修項目一覧

工種	改修項目	改修内容	更新周期(※)
建築	・屋上防水層改修	・シート防水(2回目改修時には前回防水を撤去のこと)	塗装:10年 更新:25年
	・金属屋根改修	・金属屋根・断熱(カバー工法) ・塗装改修	塗装:10年 更新:40年
	・外壁改修	・コンクリート中性化対策 ・外装吹替及びクラック補修 ・シーリング改修(建具廻り含む)	更新:40年 吹替:20年 シーリング:20年
	・外部建具更新	・サッシ(カバー工法)更新に併せてLOW-Eガラスへ更新 ・スチール建具のアルミサッシ化に併せて強化ガラス化	更新:40年 シーリング:20年
	・内装改修	・共用部含めて内装(床・壁・天井)更新	校舎棟床材:60年 体育館床材:50年 壁・天井:40年
	・内部建具更新	・スクールパーテーションの更新 ・木造建具のスクールパーテーション化	スチール製:40年 ガイドコマ:15年 クッションゴム:15年
機械	・受水槽更新	・受水槽の更新	30年
	・高架水槽更新	・高架水槽の更新	30年
	・ガス設備更新	・ガス設備の更新	40年
	・給排水設備等更新	・給排水配管設備、機器類(弁、計器類等)の更新	40年
	・校舎空調機器更新	・教室、特別教室棟等の空調設備更新	15年
電気	・受変電設備更新	・キュービクルの更新	30年
	・分電盤更新	・盤類(分電盤、電灯盤、動力盤)の更新	30年
	・電気引込幹線改修	・電気引込幹線設備(負荷開閉器、配管配線)の更新	30年
	・消防設備更新	・消防設備機器(受信機・総合盤等)の更新	受信機:25年

※「建築物のライフサイクルコスト」(2019(令和元)年5月国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)を参考に設定



## 第4章 長寿命化の実施計画

## 1. 学校施設長寿命化計画

### (1) 計画期間内の整備実施について

第3章の改修等の基本的な考え方にに基づき、学校施設は原則80年間の使用を続けるものとし、2033(令和15)年までをめどに、長寿命化改修を全校で実施(直近改築等予定校除く)します。また、建設後80年を目途として、順次平準化して改築、西小倉地域の小中一貫校の整備を見込みます。以下に、学校施設整備の実施イメージを示します。

図4-1 学校施設整備実施イメージ

	令和3年	(6次総計)	15年	(7次総計)	26年	(8次総計)	37年	42年
長寿命化改修 (外壁・屋上改修等)		← 全校 ※ ※直近改築等予定校除く			順次、改修(20年毎)			
学校整備・改築工事		← 西小倉地域小中一貫校			順次、建替もしくは小中一貫校整備(平準化)			
耐震改修 (非構造部材)	← 対象校							
改修(計画・随時) (劣化度・必要性等)		←						
新たな教育環境整備 (ICT対応等)		←						

(注) 当初13年間((仮)第6次総合計画期間を想定)を実線で、それ以降を点線で示します。

### (2) 当初13年間の事業費(見込)

本計画の計画期間のうち、当初13年間(2021(令和3)~2033(令和15)年度)の事業内容、改修費用等の事業費(見込)を以下に示します。

表4-1 当初13年間の事業費(見込)

(単位:千円)

内容	令和3年度 予算	令和4~15年度(見込)	13年間の合計
長寿命化改修 (外壁・屋上改修等)	—	12,000,000	12,000,000
小中一貫校整備	—	6,000,000 (西小倉地域小中一貫校)	6,000,000
耐震改修 (非構造部材)	(前年度繰越) 248,500	405,000	653,500
施設整備・ 維持修繕費	100,344	1,200,000	1,300,344
光熱水費	313,845	3,768,000	4,081,845
合計	662,689	23,373,000	24,035,689

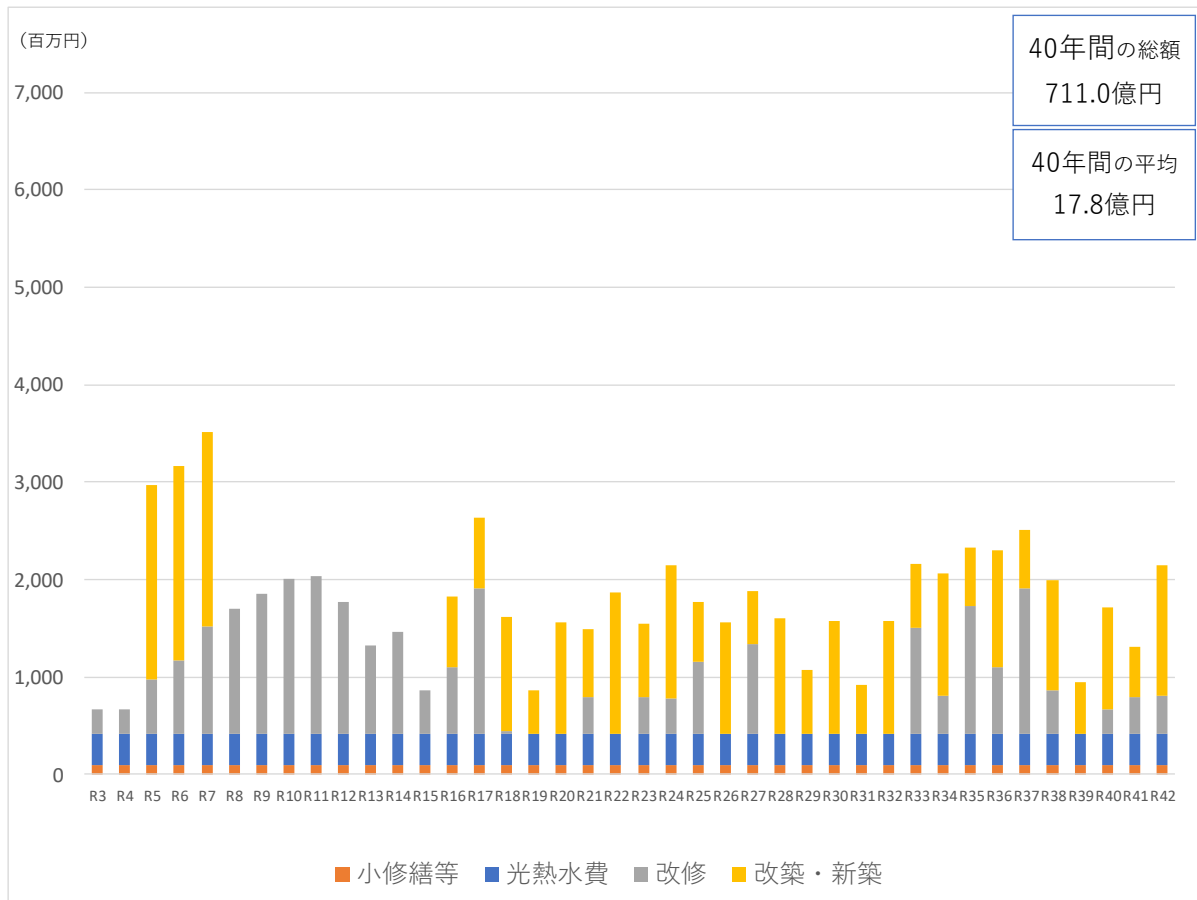
※西小倉地域小中一貫校整備は解体費含む

(3) 計画期間内の整備経費の想定について

当初 13 年間の事業費に西小倉地域小中一貫校を見込むとともに、その他の学校施設は改築時期を平準化するため、建築後 80 年を目途に平準化して改築を想定します。

本想定では、小修繕や光熱水費は横ばいとして見込みますが、この場合、年平均 17.8 億円のコストが必要になります。

図 4-2 宇治市長寿命化（採用）型の 40 年間総額と年平均事業費



< 想定条件 >

改築・新築 (367 千円/㎡)	建築後 80 年経過後を目途に平準化して改築を想定 (西小倉地域小中一貫校は新築で想定)
改修 (70 千円/㎡)	当初 13 年間で長寿命化改修を集中実施するとともに、その後、建築後 20 年の節目ごとに改修（長寿命化・予防保全等）を実施
小修繕・光熱水費	令和 3 年度予算ベース

## 2. 従来型と長寿命化型のコスト試算について

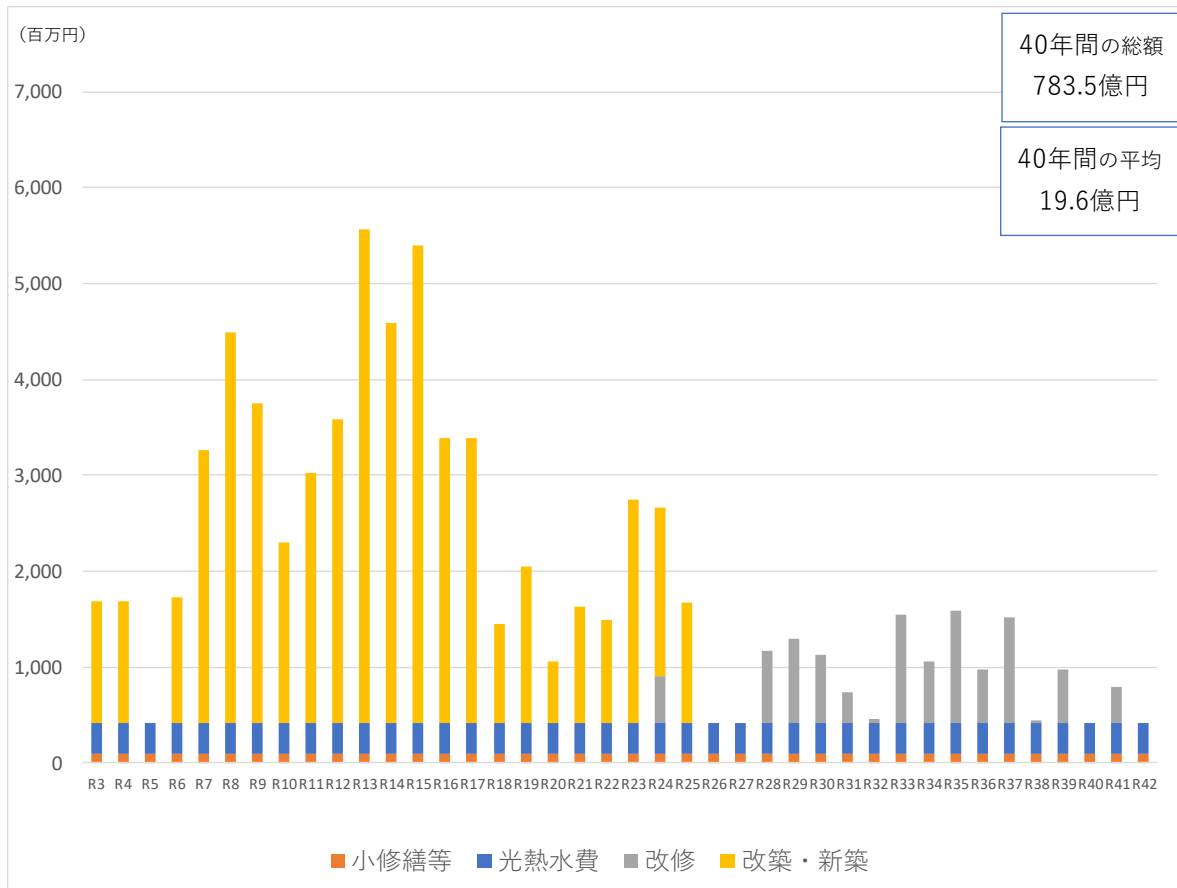
文部科学省が作成した「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」をベースに、今後40年間の維持・更新にかかる費用について、従来型と長寿命化型のそれぞれについて総費用の見込みを算出し、比較を行います。

### (1) 従来型によるコストシミュレーション

従来の改築中心で施設整備を行った場合に要する維持・更新費用の試算を行いました。

築年数60年改築とした場合、整備から60年を迎える時期が2024(令和6)年～2043(令和25)年に集中し、この20年間に多額の改築費が集中すること、40年間の平均で年19.6億円の維持・更新費用が必要であることがわかります。特に、直近20カ年では年28.0億円となっており、これは直近5カ年の学校施設関連経費の約1.9倍に当たります。

図4-3 従来型のコストシミュレーション



(2) 長寿命化型によるコストシミュレーション

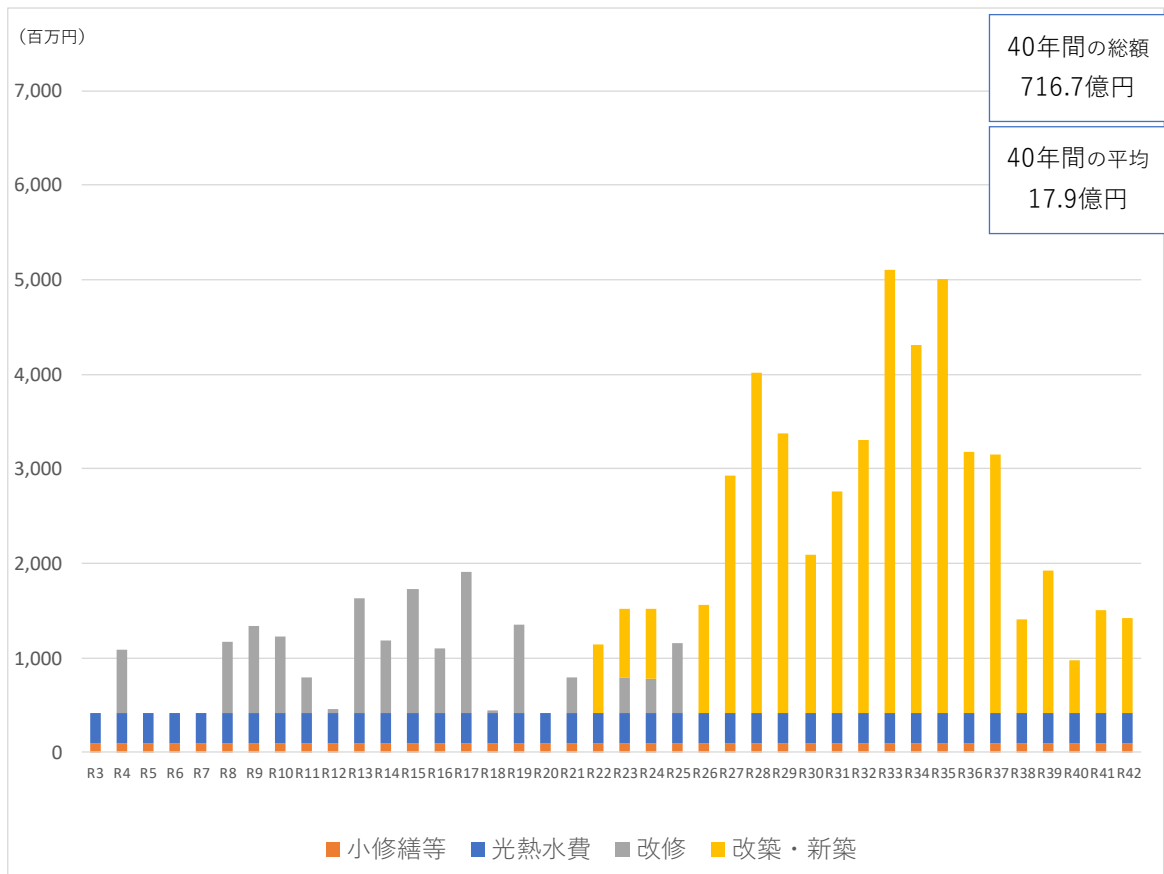
全ての棟を長寿命化し、築80年で改築した場合の維持・更新費用を試算しました。

長寿命化型の場合には40年間の平均で年17.9億円の維持・更新費用が必要となり、従来型より費用が年間約1.7億円(約9%)の費用低減が可能となります。

ただし、シミュレーション上、従来型に対して、改築の時期が20年間先送りとなる部分があり、整備から80年を迎える時期が2044(令和26)年～2060(令和42)年に集中することになります。

従って、各施設の状況を見極めながら、改築時期について平準化して実施することが必要不可欠になります。

図4-4 長寿命化型のコストシミュレーション



(3) (参考) コストシミュレーションの条件について

直近5年間の決算見込額等を参考に以下の通り積算しています。

図4-5 コストシミュレーション条件について

<p>1. 改築年数 従来型は60年とし、長寿命化型は80年として設定。</p> <p>2. 更新単価の設定 ・改築は、367,000円（改築333,000円＋解体34,000円）/㎡ ・20・40・60年目（20年毎に実施する長寿命化及び予防保全改修は、70,000円/㎡とする。）</p> <p>3. 改築・改修の実施時期・期間、改築後の施設面積 ・最も古い棟が改築年数を迎える際に改築（3か年）を実施、20年毎の改修は1か年で実施とする。（実際の改修は施設規模に応じた年数となる。） ・改築後の施設面積は、文部科学省の公立学校施設設置基準に基づき、児童生徒数推計から必要面積を算定した面積とする。</p>
---

(4) 宇治市型（宇治市長寿命化）と従来型及び長寿命化型の比較について

宇治市型に対し、前述の従来型と長寿命化型のコストシミュレーション結果を下表に示します。

表4-2 コストシミュレーションによる効果の比較

	①従来型 (改築中心)	②長寿命化型 (標準的長寿命化)	③宇治市型 (宇治市長寿命化)
A 総事業費 (40年間)	783.5億円	716.7億円	711.0億円
B 年間平均事業費 (40年間)	19.6億円	17.9億円	17.8億円
C 年間平均事業費 (当初13年間)	31.9億円	9.4億円	18.5億円
年間施設関連経費(H27~R1) 14.4億円に対するCの割合	約2.2倍	約0.7倍	約1.3倍
長寿命化の効果 (総事業費における①従来型との差額)	—	△66.8億円 (△8.5%)	△72.5億円 (△9.3%)

③宇治市型は、①従来型、②標準的長寿命化型と比べて40年間の計画期間では経費低減の効果が見込める試算結果となりました。

当初13年間の事業費では、③宇治市型は、①従来型と比較して年間13.4億円の低減効果がありますが、②長寿命化型（標準的長寿命化）と比べると年間9.1億円の経費を要する試算結果となりました。これは、西小倉地域小中一貫校の整備経費を見込んだこと、長寿命化改修を当初13年間に全校で実施することによるものです。

### 3. フォローアップ

#### (1) フォローアップ

学校施設の老朽化が進行する中、学校を取り巻く環境の変化や、児童・生徒数の推移等への対応、本市財政状況等、様々な社会状況の変化に対して、本計画も変化を反映する必要性があり、随時必要な時期に、本計画の見直しを行います。

図4-6 計画見直しのフローチャートイメージ

